

社会人基礎力とは？

9月11日（金）

志望校決定には様々な人のアドバイスが大切ですが、最終的に決めるのは生徒自信です。「行ける高校」でなく「行きたい高校」に入学できるよう、学習は勿論、秋のオープン・ハイスクール等にも積極的に参加し、自分の目で確かめて欲しいと思います。また、高校進学が人生の最終ゴールではありません。「どんな生き方をしたいのか」、「どんな職業に就きたいのか」という夢や希望についても、少しずつ具体化しながら、将来の夢や希望の実現に向けてしっかりと考え、準備をする時期がこの2学期です。これからの半年は、山南中学校の3年生だけでなく、丹波市、全国の中学3年生が必死になって学習に取り組みます。「受験は団体戦」ということを昔からよく言います。私の経験上もクラス全体が早く受験モードになった年は成績もグングン伸び始めます。休み時間などに暗記をしたり、職員室に問題集を持って質問に来る生徒が増えてくると、教室の空気もピーンと張りつめます。そんな半年間となるよう期待します。さて、今日は「社会人基礎力」について触れたいと思います。二十年前に経済産業省を主体として、粘り強さ、チームワーク力、主体性、コミュニケーション力、などの「学問で得られる専門知識やスキル以外に、仕事などで必要になる力」を育てる動きが始まりました。この力を「社会人基礎力」と言われており、具体的には①「前に踏み出す力」、②「考え抜く力」、③「チームで働く力」の3つの能力（12の能力要素）から構成されています。①「**前に踏み出す力**」（アクション）は、「一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力」のことです。これまでの学校の勉強では解答欄に書く答えは一つでした。しかし仕事をしていくと答えは一つではありません。もしかすると答えを間違ってしまうこともあるでしょう、そんな失敗をしてもくよくよせずに、次へと自ら試行錯誤していく力が必要となります。②「**考え抜く力**」（シンキング）は、「疑問を持ち、考え抜く力」のことです。問題意識を持って課題を見つけます。その課題を解決していく過程をしっかりと考え抜く力が必要となります。③「**チームで働く力**」（チームワーク）は、「多様な人々とともに、目標に向けて協力する力」のことです。大きな仕事を最後まで完成するには、色々な人とゴールへ向かって協力し合っていかなければいけません。そのためには、自分の意見を分かりやすく伝えつつも、他の人々の考えも受け入れることが大切です。まさに、今、学校に求められている教育です。こんな表現をされた方がありました。「これからの教育は『ジグソーパズル(一つのピースは一か所にしか入らない)ではなく、レゴブロック(同じブロックでも発想によって何通りもの立体ができる)』のようになっていく。」社会人基礎力は、勉強だけでなく、すべての体験や読書を通して中学生のうちからでも磨くことができます。